

**記入例 (一括徴収の時)**

特別徴収義務者が退職者の未徴収税額の全額を本人から徴収し、納入する方法です。

**給与支払報告 特別徴収に係る給与所得者異動届出書**

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

異動届出書を市役所へ提出される日を記入してください。

結婚その他で姓が変更になる場合は記入してください。

異動された納税者名を記入してください。

異動された方の新住所地を記入してください。異動後、住所不明の場合は、本籍地を記入してください。

一括徴収の理由欄に○を付し、異動者印を押し、徴収予定日、額及び納入月を記入してください。

提出日 〇〇年 2月 25日	住所(居所)又は所在地 〒354-0021 富士見市大字鶴馬1800番地の××	特別徴収義務者指定番号 1	現年度	新年度	両年度	コピー済
(宛先)富士見市長	フリガナ フジミ	宛名番号 1				※市区町村ごとに異なります
氏名又は名称 株式会社ふじみ	代表者の職氏名 代表取締役 富士見 一郎	担当者連絡先 課・係 経理課 給与係 氏名 水谷 花子 電話 (049) 251-〇〇〇〇 (内線 1234)				
個人番号又は法人番号 1 1 1 1 1 1 1 1 〇 〇 × ×	給与所得者 受給者番号(整理番号) フリガナ フジミ タロウ	特別徴収税額(年税額) 円 120,000	徴収済額 (ア) 円 6月分から 2月まで 1月まで 円 80,000	未徴収税額 (イ) 円 2月分から 〇〇・2・25 5月まで 円 40,000	異動年月日 〇〇・2・25	異動事由 1. 退職 2. 転勤 3. 合併 4. 退職 5. 長期欠勤 6. 死亡 7. 会社解散 8. 住所誤報 9. その他(特別徴収不可)
氏名 富士見 太郎	旧姓					異動後の未徴収税額の徴収方法 1. 特別徴収継続(ⅠとⅡに記入) 2. 一括徴収(ⅠとⅡに記入) ※1月以降は必須 3. 普通徴収(Ⅰのみ記入) 理由 (3月末日納期分) 月分で納入
生年月日 昭和・平成 50年 4月 1日	個人番号 2 2 2 2 2 2 2 〇 〇 × ×	1月1日現在の住所 富士見市羽沢2-×-×				
異動後の住所 志木市本町1-×-×						

◎給与の支払を受けなくなった後の月割額(未徴収税額)を一括徴収する場合は、次の欄にも記載してください。

一括徴収の理由		徴収予定		
1. 異動が 年 12月 31日 までで、申出があったため ( 月 日申出)	徴収予定月 日	徴収予定額 円	徴収予定額合計(上記ウ)と同額) 円	40,000
2. 異動が 〇〇年 1月 1日 以後で、特別徴収の継続の希望がないため	2・28	40,000		
異動者印				

相続人の連絡先について 氏名	続柄	1 (普B) 他の事業所で特別徴収 (例: 乙欄適用者)
住所		2 (普C) 給与が少なく税額が引けない
電話		3 (普D) 給与の支払が不定期 (例: 給与の支払が毎月でない)
		4 (普E) 事業専従者 (個人事業主のみ対象)

◎転勤(転職)等による特別徴収届出書

新しい勤務先の特別徴収義務者指定番号 (※ 新規事業所の場合は記入不要です。)	課・係	新しい勤務先では 月割額 円を 月分から徴収し、納入します。	年特	年普	口振	併徴
新しい勤務先の住所(居所)又は所在地 〒	担当者連絡先 氏名	個人コード				
フリガナ	電話	※市区町村記入欄 収入確認 / 月				
氏名又は名称		返通知送付 / 有・無				
代表者の職氏名		納入書送付 / 有・無				
個人番号又は法人番号		特別徴収税額通知書の個人別明細書に記載された合計年税額を記入してください。				

【提出先】 〒354-8511 富士見市大字鶴馬1800番地の1 富士見市役所 税務課 市民税係 電話(049) 252-7116(直)

税額通知書でお知らせしました、指定番号・宛名番号を記入してください。

該当する事由及び徴収方法を○で囲んでください。

年税額から徴収済額を差し引いた残額を記入してください。

必ず納入書の納入月を記入してください。

徴収いただいた月割額の合計額を記入してください。